

平成25年第3回定例会 議会報告

(平成25年 9月4日～10月3日)

かみくら

秦野市議会議員

神倉ひろあき



●9月4日から始まった、第3回定例会は、議案審議、一般質問、常任委員会、議会運営委員会、議会活性化特別委員会と続き10月3日、委員長報告をもって終了しました。

●定例会第1日目の「正副議長人事」と「文教福祉常任委員会における私の質問」を、ご報告いたします。

★1. 正副議長人事

・私、「神倉ひろあき」は、議会初日、副議長に選出されました！！

・平成19年（2007年）に初当選以来、文教福祉常任委員会委員長、同副委員長、予算特別委員会副委員長、議会運営委員会副委員長などの役職を歴任させて頂きました。

・所信・・・ 市政は、市民のために！ 議論の質を高め議会の活性化を！

『この度、名誉ある副議長に就任いたしました。これもひとえに多くの皆さまのお陰であると心から感謝致しております。議会は、市長と共に市を支える二元代表制の担い手であります。しっかり、市民のニーズをとらえる事が何よりも重要であり、改めて、「市政は、市民のためにある」ことを肝に銘ずるつもりです。また、見識と品位を持って「議論の質を高め議会の活性化する」ことにも努めなければなりません。市政に山積する、課題や問題を質し、市民の皆さまと共に、**楽しく元気な街・秦野の実現**に向け誠心誠意、努力いたしますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。』



本会議、一般質問2日目の午後、議長の職務代理として議長職を努めました。

★2. 文教福祉常任委員会・・・市内中学校における生徒指導上の諸問題

平成24年第2回定例会で、新聞に取り上げられた中学校の対教師暴力事件を中心に「問題行動等生徒指導上の諸問題について」何点か質した。その後、1年が経過したが、現状と正常化に向け、どんな対応をしてきたのかについて。

問1. 平成24年度における市内中学校での暴力行為、いじめの発生件数及び逮捕者数はどのようなか。

答 文部科学省の調査のため、まだ、数字は公表できないが、23年度に比べ暴力行為は減っているが、いじめは変わらない。逮捕者数は2人である。

問2. 対教師暴力対応マニュアルの作成を昨年第2回定例会で要望したが作成したのか。

答 作成していない。素案を作成している段階である。

問3. 法律に基づく『教育に関する事務の管理・執行の状況の点検・評価』において、中学校の生徒指導等を実施していなかったが、平成24年度については実施したのか。

答 昨年度は、いじめ・不登校関連事業として点検・評価したが、暴力行為については実施していない。



問3の答に対する要望 教育行政の点検・評価の学識経験者の知見にある『教員の世代交代による知識不足、経験不足による教育劣化が課題である。研修の充実に努める事は教育委員会の責務である。また、教職員が過度なストレスに陥らないような支援の施策や校長・教頭がリーダーシップを発揮出来るよう学校管理運営方法の研究の充実が望まれる』というコメントを教育委員会は十分に認識して頂きたい。

問4. 生徒の暴力で、先生が全治3ヶ月の重傷を負った事件を含め、4件立て続けに起きた当該中学校の対教師暴力事件等をどのように総括したのか。

答 当該中学校の事件を含め、まだ総括していない。

問4答に対する要望 以前から「事件・事故の未然防止は、最大の対応策」と答弁している。

昨年まで、立て続けに起きた暴力事件の検証・総括を行い文教福祉常任委員会に報告して頂きたい。反省・総括がないとまた、同様な事件・事後が発生する。出来なければ、第3者委員会等に委ねてしっかりした形でまとめて頂きたい。

問5. 対教師暴力の総括を再度質すのは、昨年10月、ある中学校で、生徒とのトラブルで先生が頸椎捻挫で入院するという事故が発生している。公務災害と言う形で処理されたようだが、事故発生の際等の報告は教育委員会にどのようになされたのか。

答 公務災害として処理した。教育長、教育部長には報告していない。

問5の答に対する要望 この事故に遭われた先生は、以前にも当該中学校で、同様なトラブルに巻き込まれたと言います。先生のメンタルヘルス問題が注目されている。メンタル的に弱い先生をフォローするのが管理職や教育委員会の責務であり、このことこそが先生の人権を守る事であると認識して頂きたい。

重ねて教育委員会に要望するが、児童・生徒が、安心・安全に学校生活を送り、夢と希望が持てる環境と社会を作って頂きたい。併せて、先生方の教育環境の充実、人権の確保も整えて頂きたい。